

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」山口宇部校			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 13日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 13日		～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様一人一人に寄り沿った支援・プログラム	お子様一人ひとりの特性・課題、ご本人や保護者様からの要望に寄り沿った支援プログラムの提供。また、特別な支援を必要とするお子様には【強度行動障害支援者養成研修】を修了した指導員を配置し支援を行っています。	研修の実施等によりスタッフ1人1人の専門性、知識を高め、その子に合った支援を日頃から考察し、お子様の成長に必要な支援を提供できるように努めてまいります。また保護者様との情報共有を密に図り、細やかな活動内容の調整も行っています。
2	・毎回の保護者様とのフィードバックや情報共有	毎回、保護者様とフィードバックを行うために「紙スケジュール」を作り、その日の活動内容やお子さまの様子、気付きを記入し、送迎やお迎えに来られた際にお伝えしております。また、保護者様とはLINEでのやりとりを行っており、いつでもすぐに相互で情報共有できる環境にしております。	今後も継続して保護者支援の充実を図ります。保護者様が、安心して悩みを話せる場所となるよう、環境整備だけでなく、スタッフの専門性と対応力の向上に向けて、社内研修を行います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が2階でエレベーターがないことや事業所目の前が大きな幹線道路になっていること。	・建物の構造上、バリアフリーといった対応が難しい状況となっております。	・飛び出しの危険性がある場合など、職員の見守り強化を図って対応しております。 ・階段の昇り降りが難しい児童などに対して常に職員が付き添うようにする。
2	・駐車場スペースの確保が難しい	・他店の駐車場を借りているが送迎車2台を駐車している為、実際には車1台分しかスペースがなく、保護者様の送迎にはご迷惑をおかけしています。	今後も他店舗にご迷惑にならないよう出来る限り駐車スペースを確保して参ります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」山口宇部校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 0名配布

回収数 0名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						法令を遵守し、お子様が過ごしやすいスペースを確保して支援を提供しております。集団活動で人数が増えた場合には空間を区切るなどして、お子様が安心して過ごせるように工夫いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。						法令を遵守して職員を配置しています。またよりよい支援提供に向けて、職員の増員を検討しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						車椅子の場合は相談させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						指導員によって差が出ないよう、しっかり研修の実施をしていきます。また、全体共有の場をさらに設けて全体での理解度をあげていけるよう精進いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						2025年1月現在、支援プログラムの公表を準備中です。2025年3月までに公表を予定しております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						児発管を含め経験が浅い職員ばかりですが日々、子ども達のことを理解しようと努力しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						ガイドラインに関する資料を保護者様がいつでも手に取れる場所に設置いたします。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						支援員間の情報共有を密に行い計画に沿った支援を提供してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						コピー代に関しましては、ご家庭によってはプリント教材をなるべく使わない支援方法への変更を提案させていただいております。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。						今年度は行っていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						希望が多数あれば検討いたします。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。						担当が代わっても支援の質やお子様への理解度にはばらつきが出ないように、しっかり共有してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						定期的には開催はしていませんが、希望等があれば実施又はこちらからお願いすることがあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						きらりで提供する支援・療育の性質上、きらりを利用されていない児童と交流する機会を設けておりません。ご了承ください。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						今年度は経験の浅い管理者・児発管の変更があり、保護者様やお子様にはご心配をおかけしました。まだまだご不便をおかけしますが今後ともよろしく願いたします。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						できる限りの配慮しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						施設できる書庫で保管し、HPやSNS等で写真を使用する際にも、十分に留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						各マニュアルを作成し、保護者様が手に取れる玄関に設置しています。また定期的に訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						防災備品の確保、毎月避難訓練・防犯訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						契約時に避難経路を含む安全を確保するための計画をお伝えしています。また事故や怪我の無いよう、十分に配慮して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						事故や怪我が発生した場合、速やかに保護者様に連絡し、発生状況等の説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						今後とも安心感をもって頂ける職員一層努力して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						子どもたちそれぞれ「きらい楽しい」「また、いきたい」と思えるよう今後とも努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。						保護者様には前日の夕方まで欠席等の連絡を頂けるよう事業所でも早めに連絡をしております。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」山口宇部校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。時間差を利用して、支援スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		加配の常勤職員と2名の非常勤職員を配置していますが、状況によっては不足を感じる時もありました。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーティションなどを使用して、学習スペースと遊ぶスペースなどの構造化を行っています。	すぐの対応は難しい為、契約時に説明をさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に消毒を行っています。また、食事の際は、別途テーブルを用意して勉強用と食事に分ける仕様になっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋は用意していますが、防寒や暑さ対策などが不十分のため、機械の設置が必要です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に話し合いの機会を設け、より良い支援を検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度、保護者アンケートを実施し改善に繋がっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に管理者と1on1を実施し、意見を聞く機会を設け、改善に繋がっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に事業所外の者から内部監査を受けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		一般財団法人「発達支援研究所」による研修や法人研修、また地域別単位での研修、事業所内研修を年度研修計画のもと行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	個別支援計画に基づいて支援のプログラムを職員間で相談しながら作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		フェイスシート、アセスメントシートの活用や情報共有の機会を通してニーズや課題の検討を常に行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を開催し、事業所職員で検討を重ね個別支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援前に個別支援計画を見直し、その日の支援プログラムを作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントツールを使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定しています。「家族支援」「移行支援」は、日頃のお子様やご家族様の状況を把握することや困り感を共有して頂く中で様々な視点から分析し、関係機関と共有できるように努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		集団支援プログラムは、持ち回り担当制を設けている。個別支援プログラムは主に担当が立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないように取り組んでおります。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者の希望に沿いながら、個別と集団を組み合わせた支援を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		就業開始時に適宜ミーティングを行っています。	職員間でしっかりと連携を取れるよう日々、努力してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼でその日の支援内容と役割を確認し、前日の振り返りも行っていきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6か月に一度モニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議には児童発達支援管理責任者又は管理者と指導を担当するよう調整しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に学校の先生や相談支援専門員と利用児について情報共有の機会を設けています。	保健、医療の関係機関連携が行えていないため、今後必要に応じて機会を設けます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			今年度はできておりません。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			連携が必要な際は適宜情報共有を実施して参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			機会があれば設けたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在、事業所以外の児童と活動する機会はありません。	今後地域連携として、活動に参加したいと考えております。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から送迎時や連絡帳などで保護者と情報交換を行っています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			定期的な保護者との面談の中で、お困りごとや相談があった際に必要な動きを行っています。しかしながら積極的に活動しているというには不十分であるため、今後保護者からのニーズに沿いながら検討していきたいと思っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や更新時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時やモニタリング時に、保護者の方へ要望を伺っています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行っています。また、より相談しやすい環境づくりを目指す一環として、家族支援・子育てサポートの体制を整えています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ご希望があれば開催を検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情受付体制を書面と口頭でお伝えしています。苦情が出た時は迅速に直接対話で対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所の公式LINEを使用して活動の様子を保護者発信しています。また、月に2回更新するHPのブログでも情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭のみでなく書面やLINEにて連絡できる体制を整えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民の招待等は行っておりません。児童それぞれの療育プログラムに沿い可能な範囲で検討しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成しており、訓練を定期的に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月「地震」「火事」「津波」「不審者」などの状況設定を変えて、訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に調査票を提出していただき、熱性けいれんなど子どもの持病を共有理解できるように努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメント時にアレルギーについて慎重に聴取し、徹底しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		ヒヤリハットや事故報告書を作成し回覧で共有、研修なども実施し事故防止に努めています。また、安全計画の作成も行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ヒヤリハットや事故などは必ず保護者に報告して話し合いながら、ヒヤリにつながった原因を考え、保護者や職員間で共有しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、終礼等で共有し、職員間で原因や未然に防ぐ方法について話し合う場を設けています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		入社時研修、毎月の虐待防止・身体拘束廃止委員会研修、行政の研修で虐待防止に関する意識向上を図っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しています。		